

平成22年1月30日

平成21年度千臨技細胞診検査研究班

精度管理報告 フォトサーベイ部門

渡邊孝子(帝京大学ちば総合医療センター)
有田茂実(千葉県こども病院)
村田行則(国立国際医療センター国府台病院)
須藤一久(千葉県立佐原病院)
北村真(東邦大学医療センター佐倉病院)
滝川紀子(千葉大学医学部附属病院)
永澤友美((株)江東微生物研究所)
時田和也(JFE健康保険組合川鉄千葉病院)
仙波利寿(千葉大学医学部附属病院)
岩崎聖二(国立がんセンター東病院)
松尾真吾(君津中央病院)
千臨技細胞診検査研究班精度管理委員

目的

インターネットを利用したフォトサーベイによる適切な細胞判定を目的とした。

方法

同定問題8例、標本適正問題1例、症例問題1例を提示。各施設で画像を閲覧し、設問に対する解答を求めた。

評価

同定問題・症例問題は各1点
標本適正問題は設問A/B両者正解で1点

A判定 : 9 ~ 10点

B判定 : 7 ~ 8点

C判定 : 6点以下

平成21年度参加施設数 : 45施設

同定問題 1

年齢:77歳 性別:女性

臨床所見:58歳閉経 子宮癌検診

採取部位(方法):子宮腔部(綿棒擦過)
Pap.染色

解答: **萎縮性膣炎**

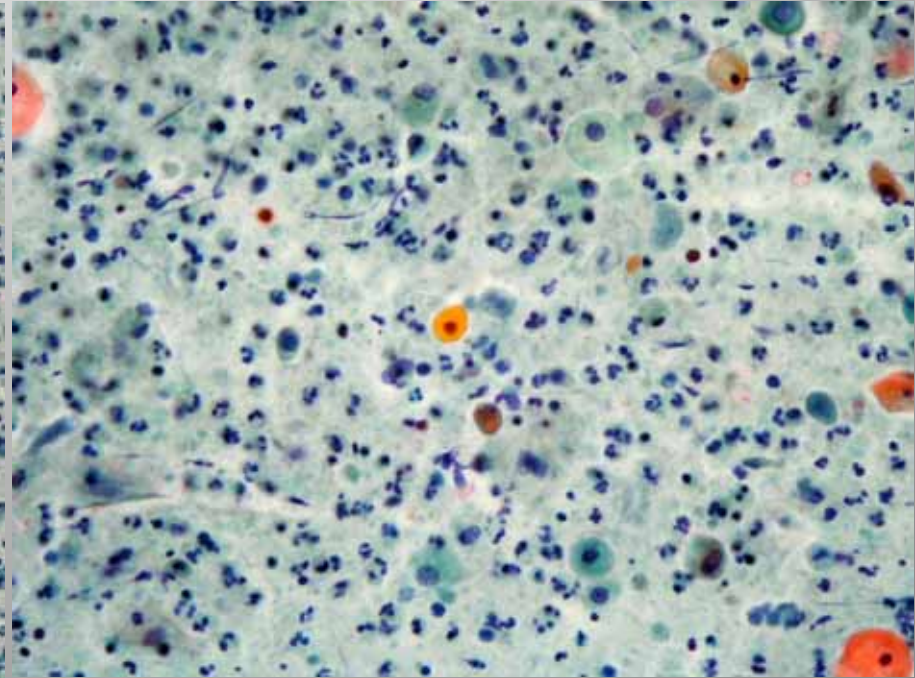
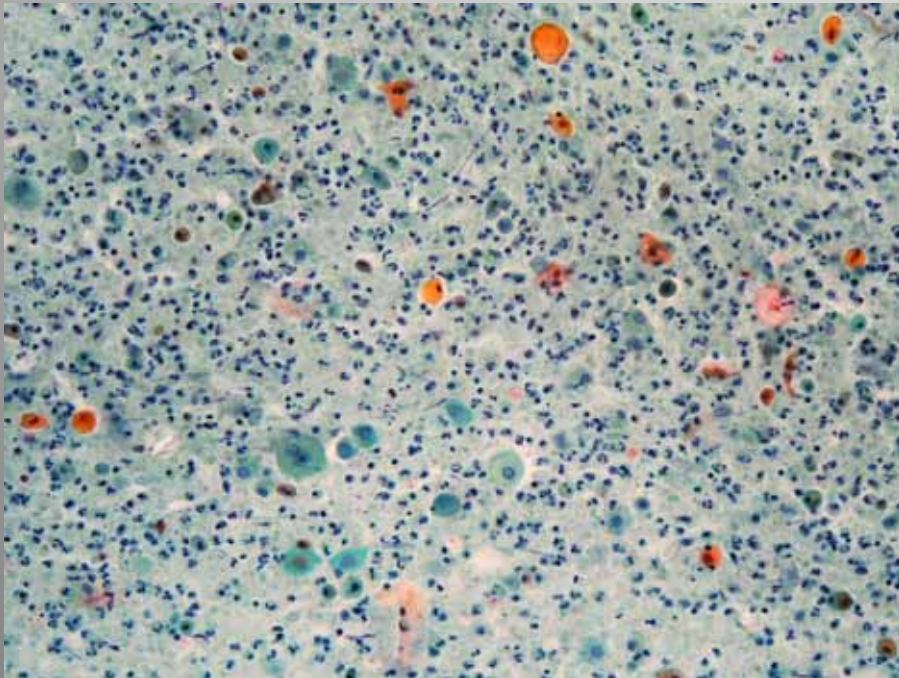
トリコモナス膣炎 2.2%

萎縮性膣炎 97.8%

軽度異形成

上皮内癌

扁平上皮癌(角化型)



同定問題 2

年齡:30歲 性別:30歲:女性

臨床所見:子宮癌檢診

採取部位(方法):子宮腔部(綿棒擦過)

Pap.染色

解答: **HSIL**

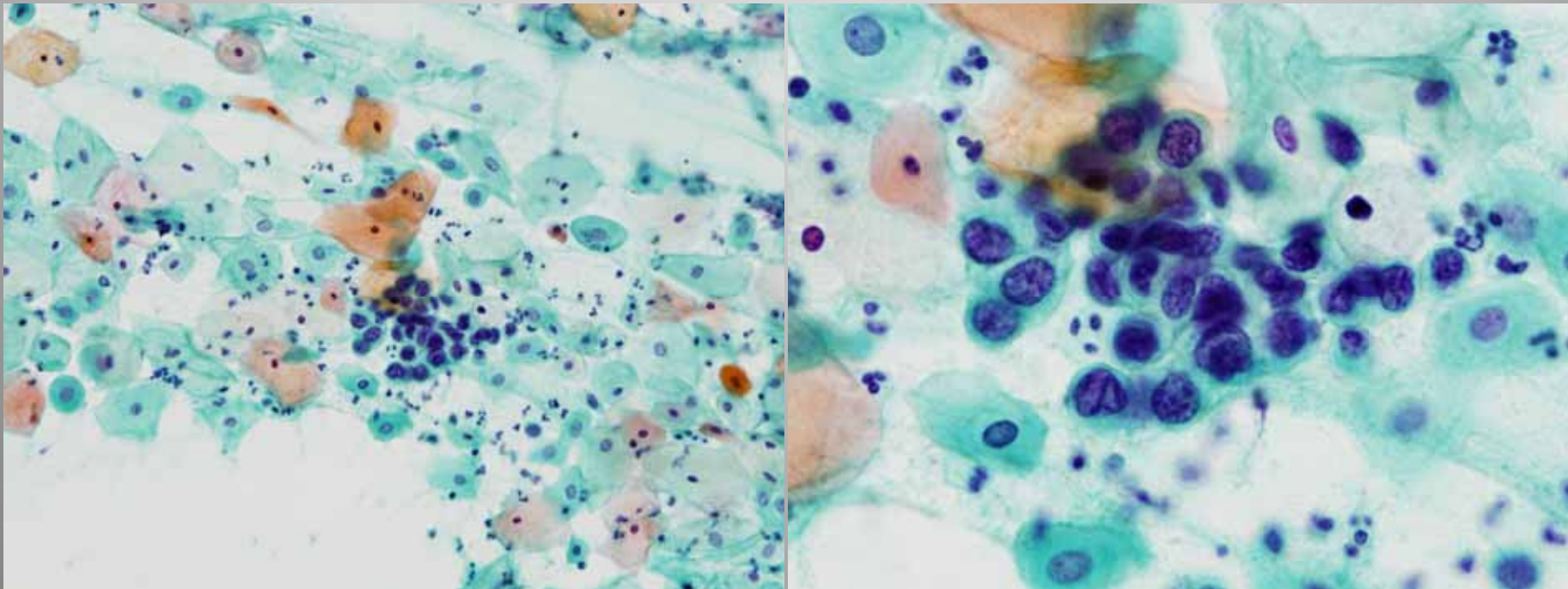
NILM

ASC-US 2.2%

LSIL

HSIL 97.8%

AIS

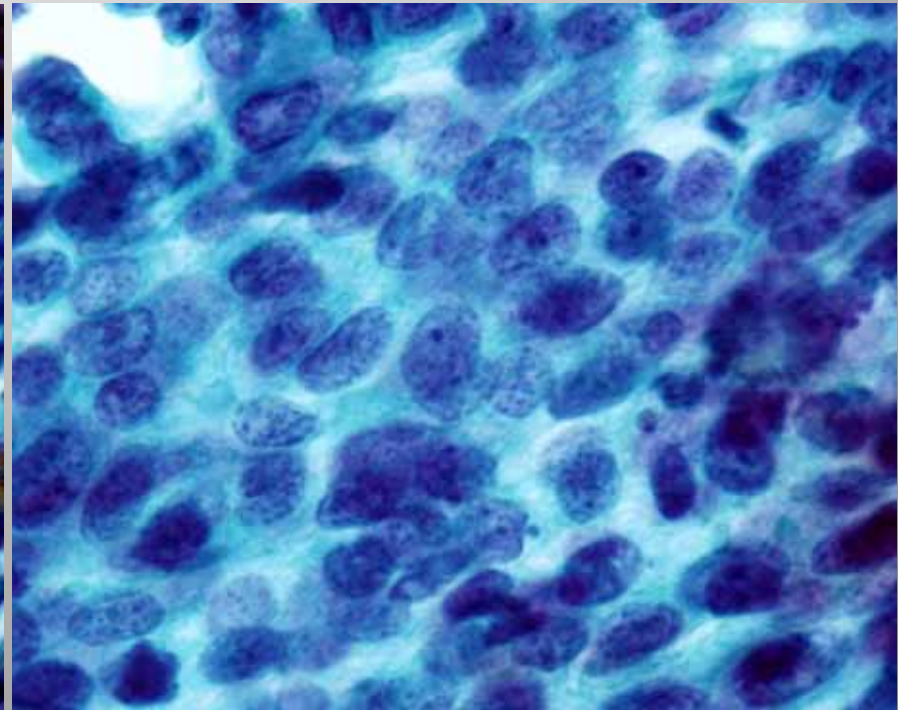
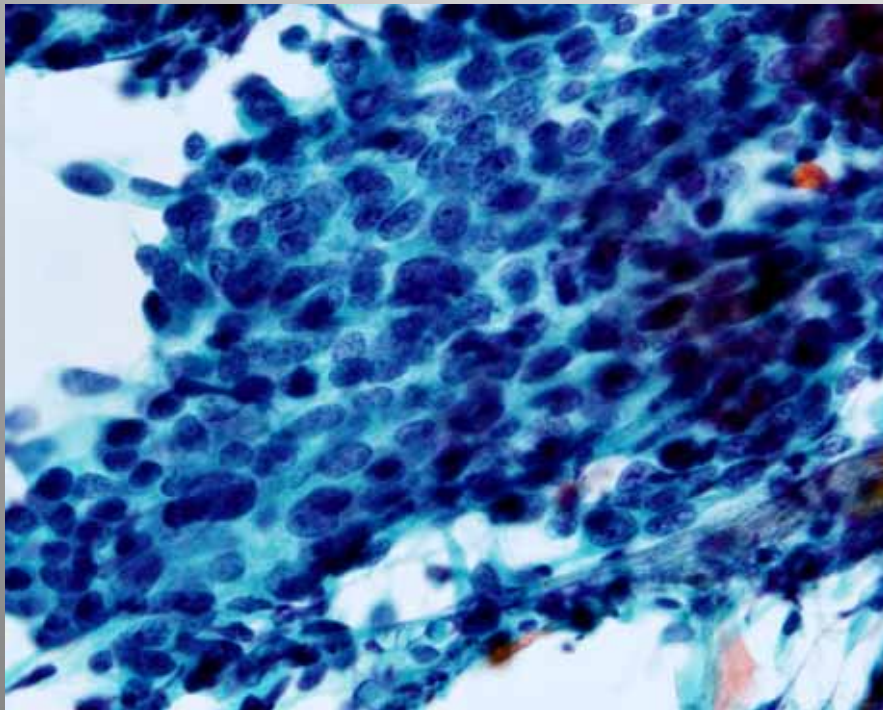


同定問題 3

年齡:67歲 性別:男性
臨床所見:左肺異常陰影
採取部位(方法):気管支擦過
Pap.染色

腺癌	4.4%
扁平上皮癌	77.8%
小細胞癌	17.8%
カルチノイド	
線毛円柱上皮細胞	

解答: **扁平上皮癌**

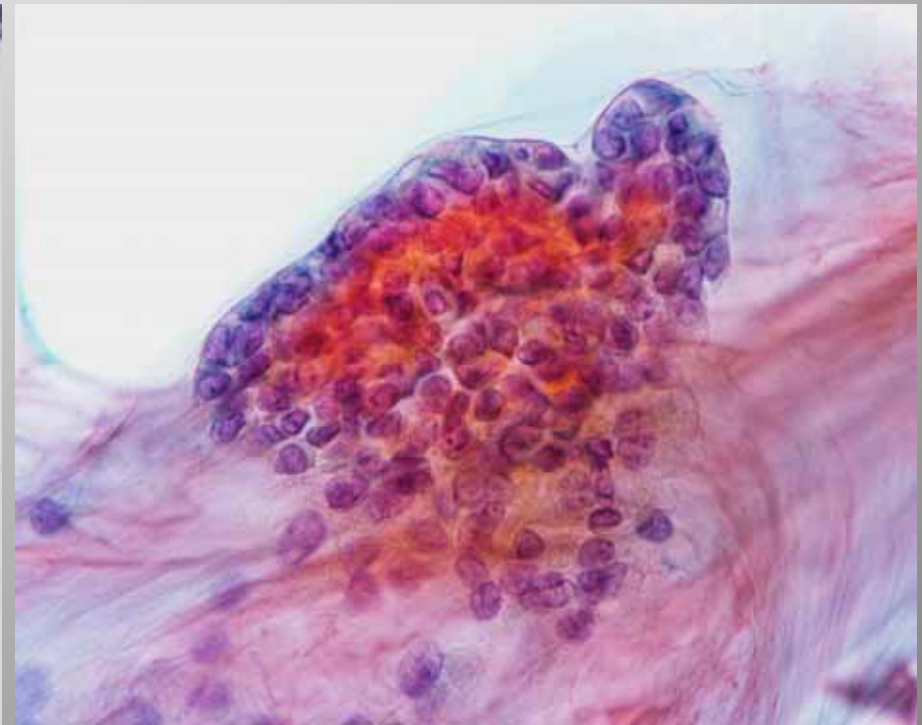
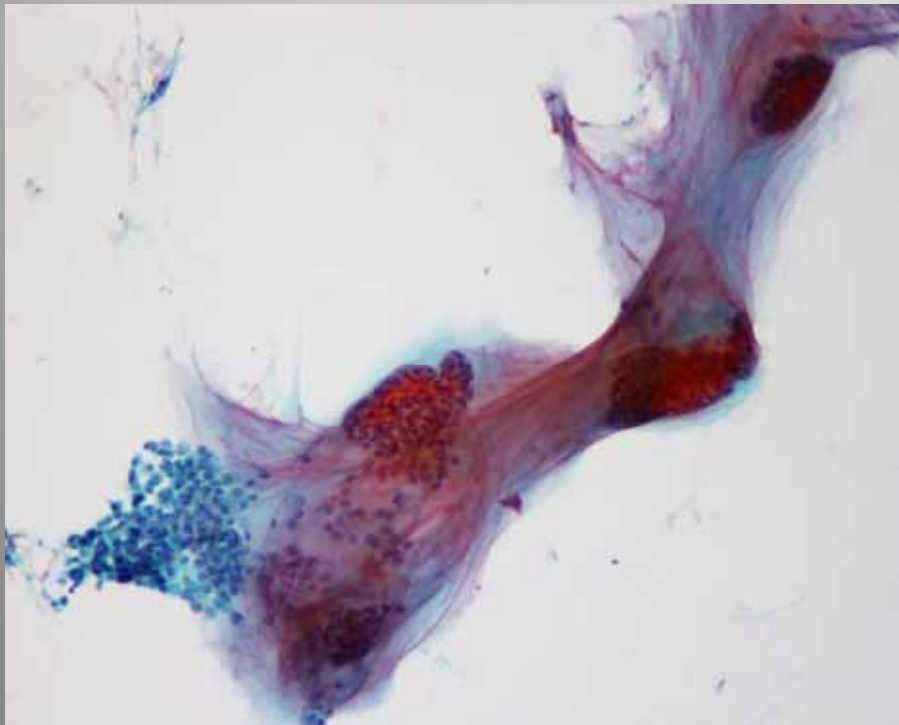


同定問題 4

年齡:54歲 性別:女性
臨床所見:乳腺腫瘤
採取部位(方法):乳腺穿刺
Pap.染色

解答: 粘液癌

乳腺症
乳管内乳頭腫
葉狀腫瘍
乳頭腺管癌
粘液癌 100%

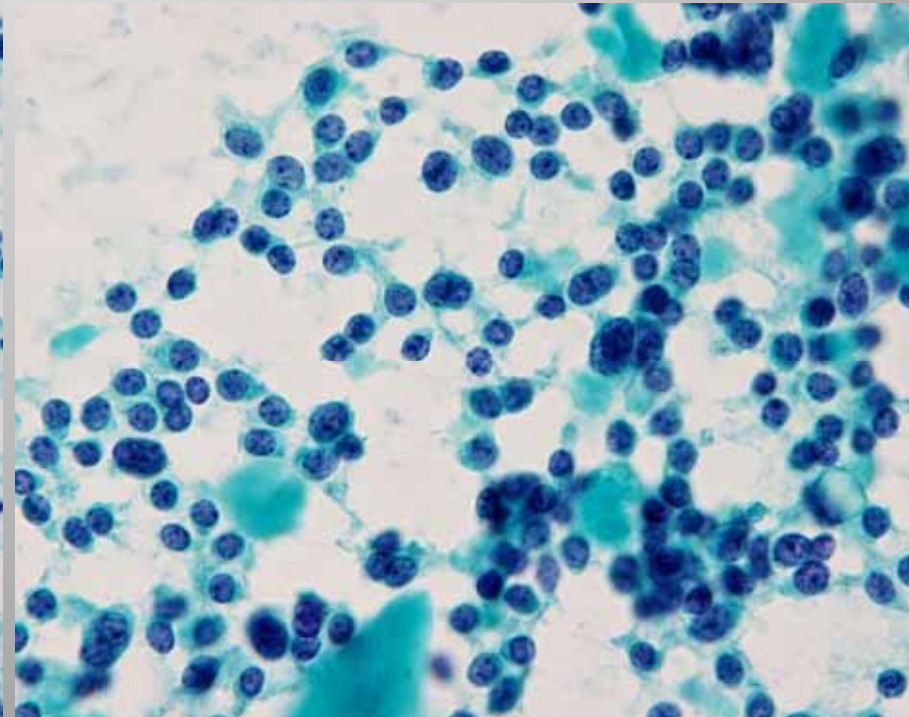
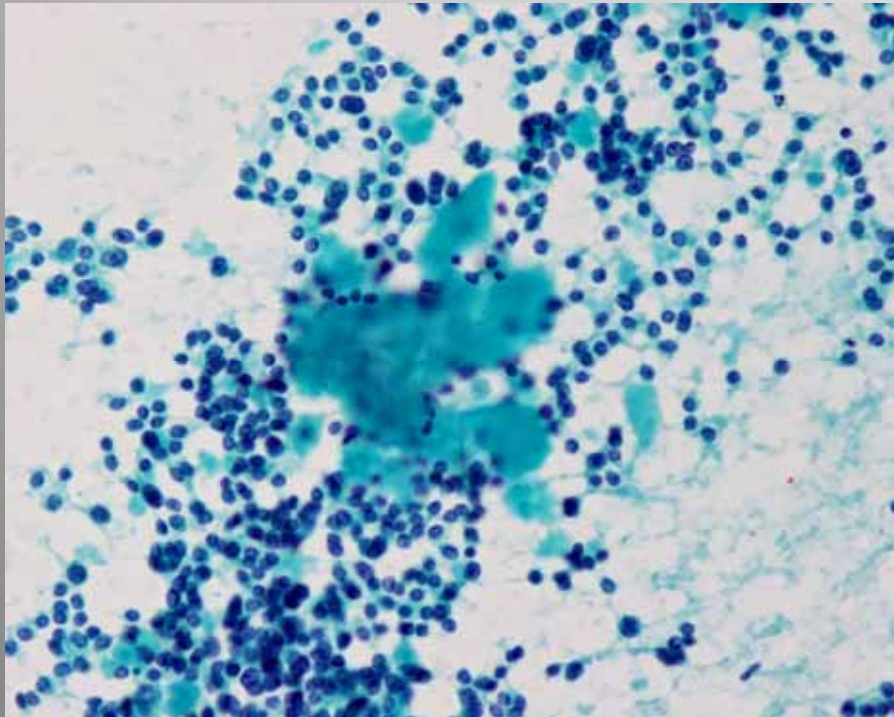


同定問題 5

年齢: 51歳 性別: 女性
臨床所見: 甲状腺腫瘍
採取部位(方法): 甲状腺穿刺
Pap.染色

解答: **髓様癌**

乳頭癌	
髓様癌	95.6%
未分化癌	
濾胞癌	2.2%
非ホジキンリンパ腫	2.2%

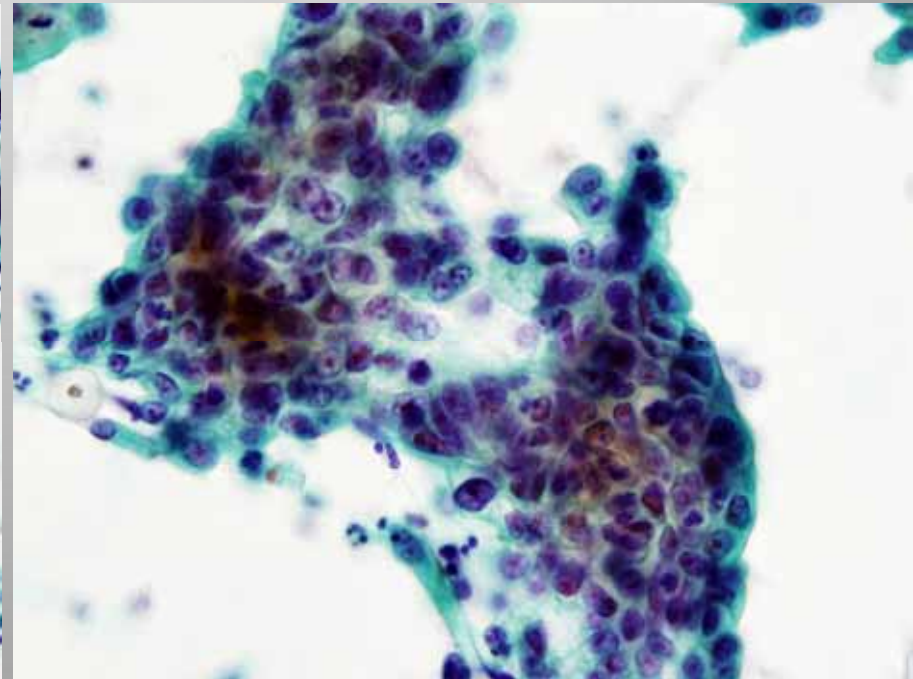
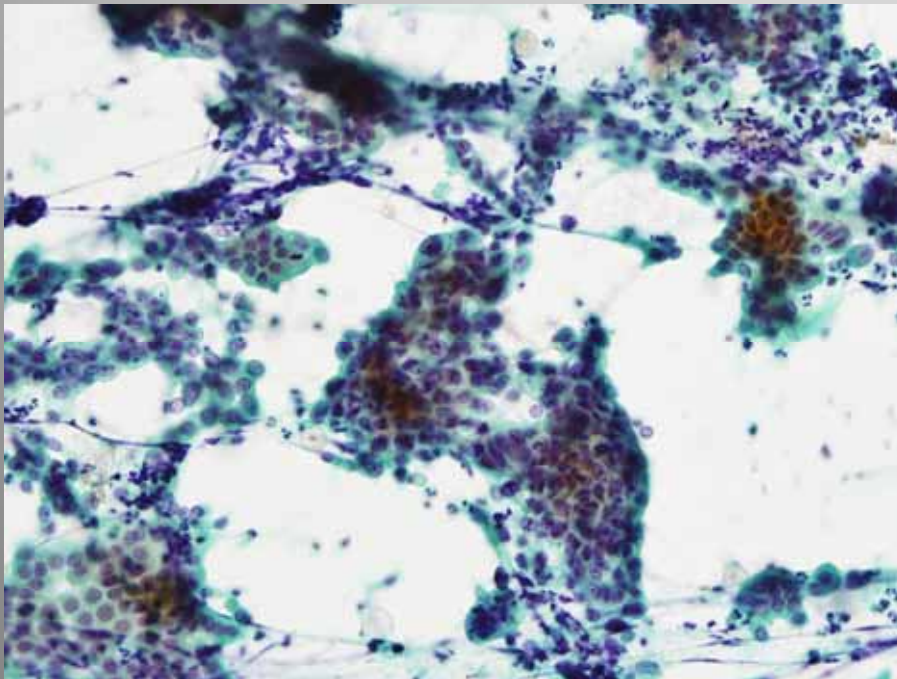


同定問題 6

年齡:67歲 性別:男性
臨床所見:閉塞性黃疸
採取部位(採取方法):胆汁
Pap.染色

解答: **腺癌**

組織球	
良性円柱上皮細胞	2.2%
腺癌	97.8%
扁平上皮癌	
小細胞癌	

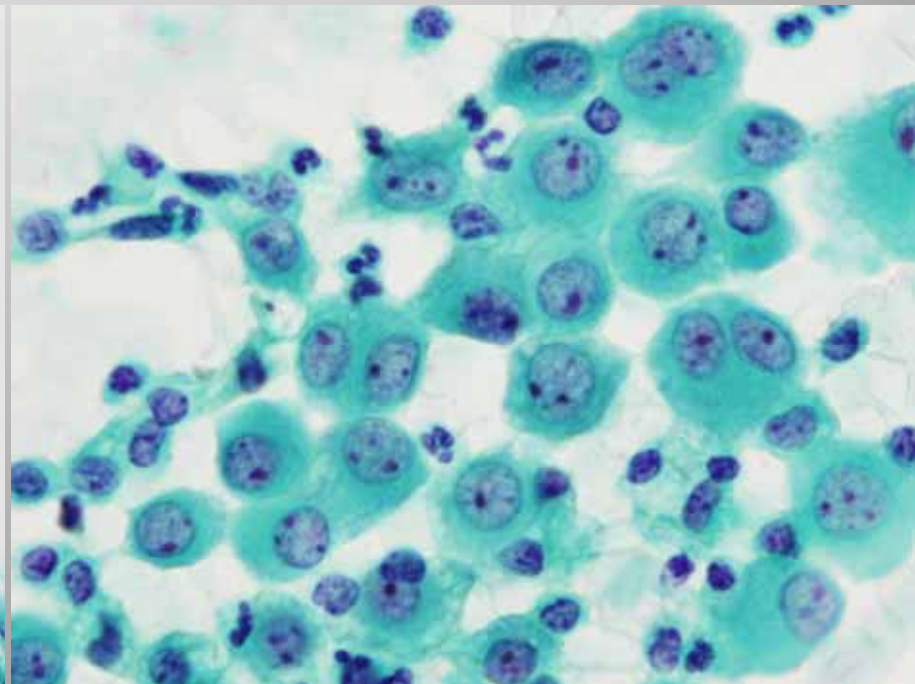
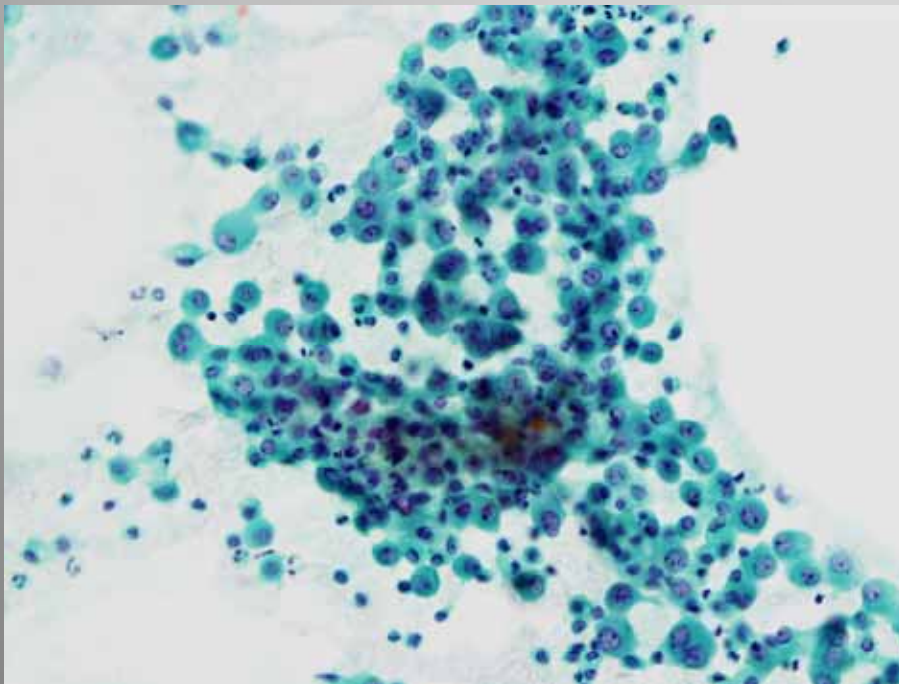


同定問題 7

年齢:69歳 性別:男性
臨床所見:肝硬変
採取部位(採取方法):胸水穿刺液
Pap.染色

反応性中皮細胞 100%
腺癌
扁平上皮癌
非ホジキンリンパ腫
悪性中皮腫

解答: **反応性中皮細胞**



同定問題 8

年齢：49歳 性別：男性

臨床所見：橈骨腫瘍

採取部位(採取方法)：橈骨腫瘍(腫瘍捺印)

Pap.染色

解答：**骨巨細胞腫**

骨肉腫

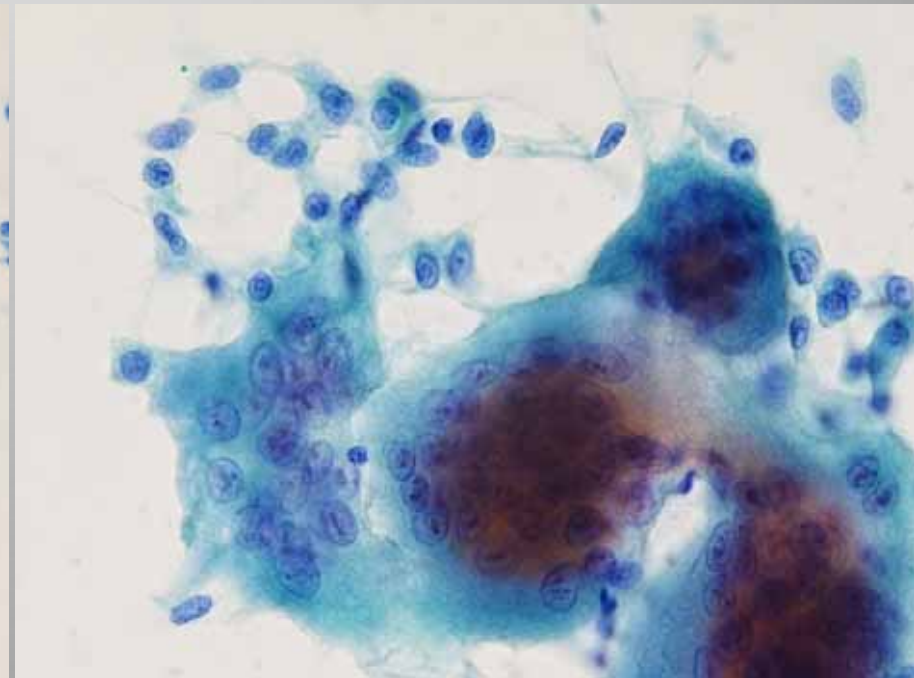
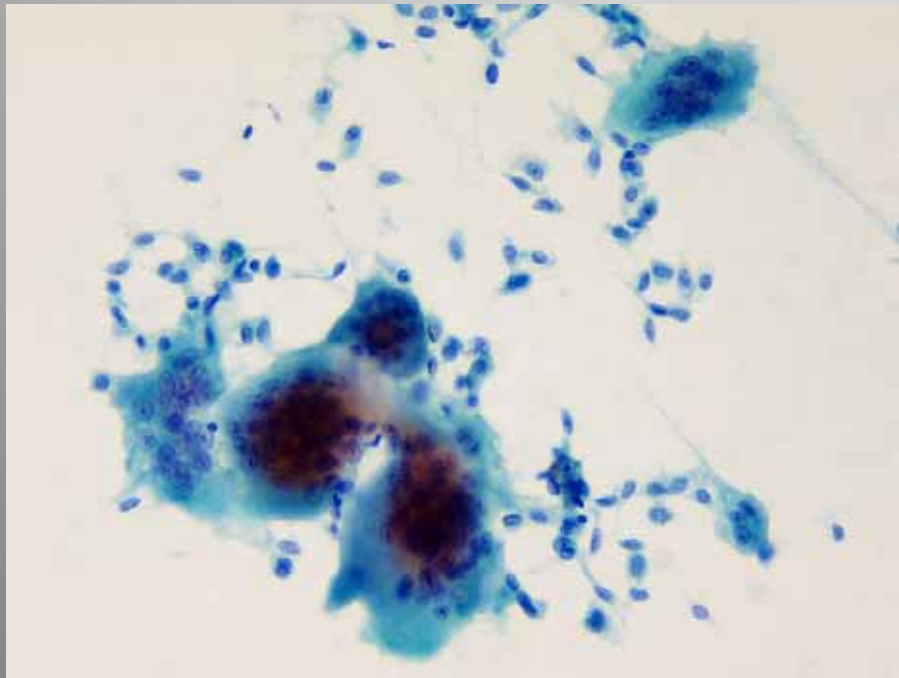
脊索腫

軟骨肉腫

ユーイング肉腫

骨巨細胞腫

100%



標本適正問題

A : Pap.染色 喀痰

適正

アルコール固定前乾燥

核染色後の分別過少 100%

ヘマトキシリン液の濃度低下

B : MG染色 腹水

適正

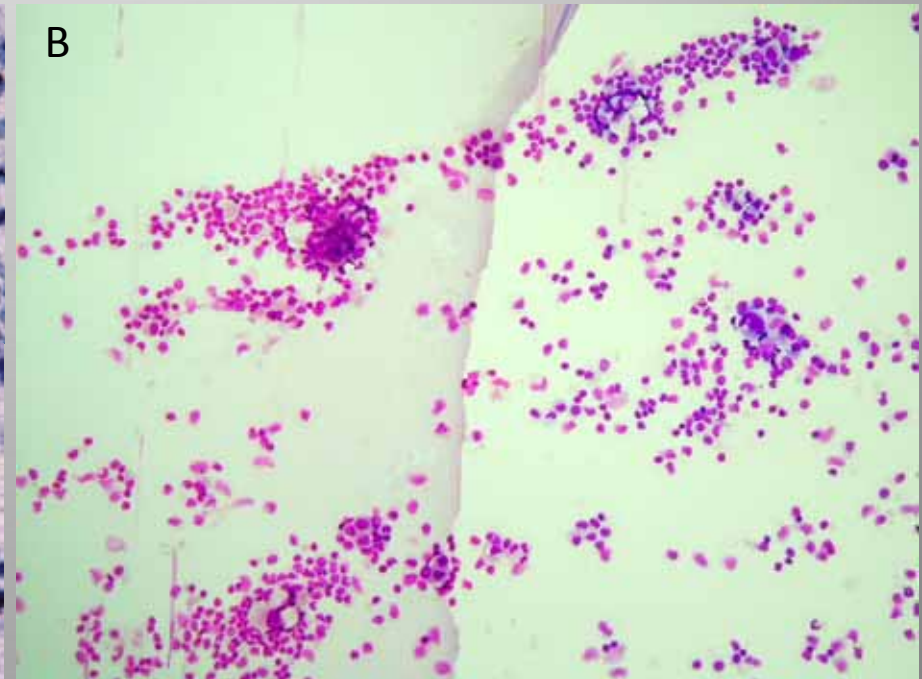
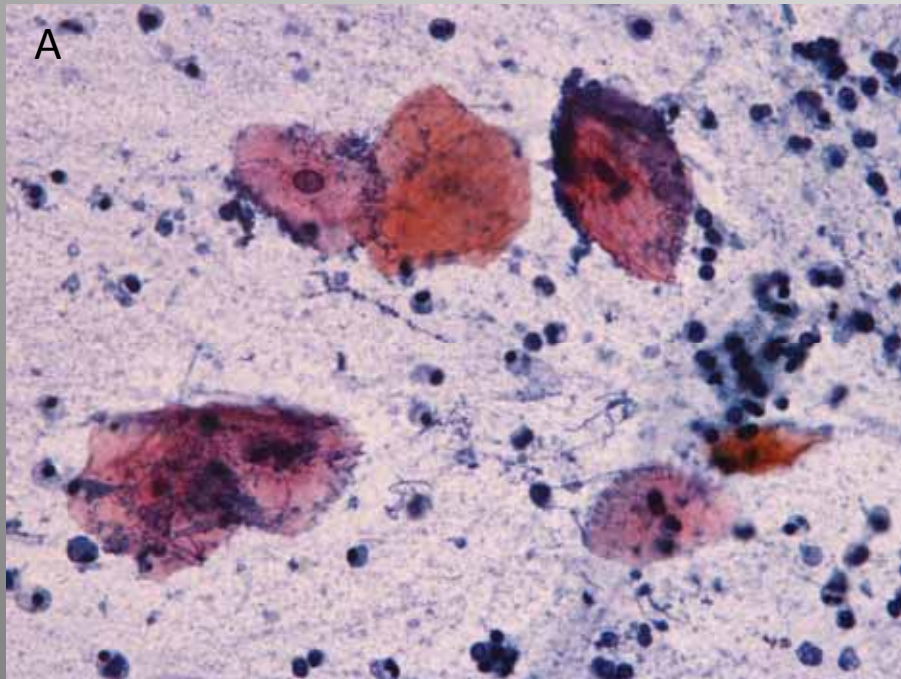
染色・水洗後の乾燥不良 97.8%

時間が経過したギムザ希釈液の使用 2.2%

高濃度ギムザ液の使用

A 解答: 核染色後の分別過少

B 解答: 染色・水洗後の乾燥不良



症例問題

年齢 / 性別 : 77歳 男性

既往歴 : 特になし

臨床所見 : 検診にて右肺異常陰影を指摘 .

気管支鏡生検にて癌細胞を確認 .

右肺部分および胸壁合併切除 .

CT所見 : S2領域に大きさ4.0cm

境界明瞭で辺縁不整、胸壁面に接する腫瘤影 .

採取方法 : 腫瘍捺印

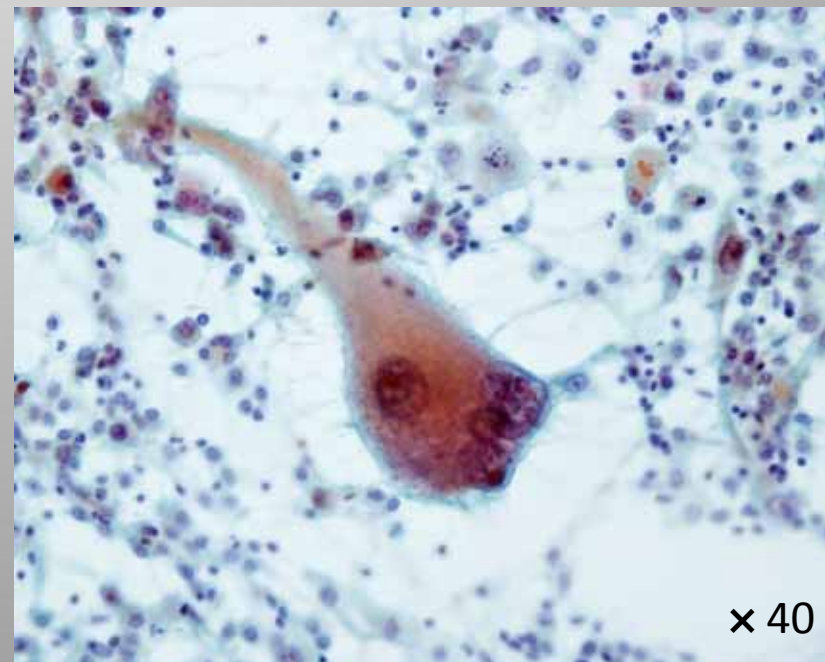
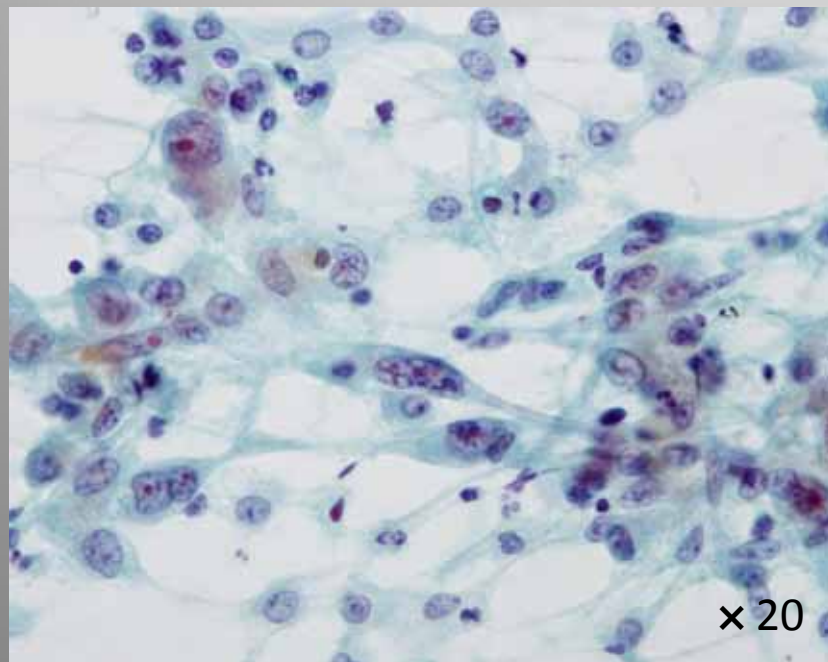
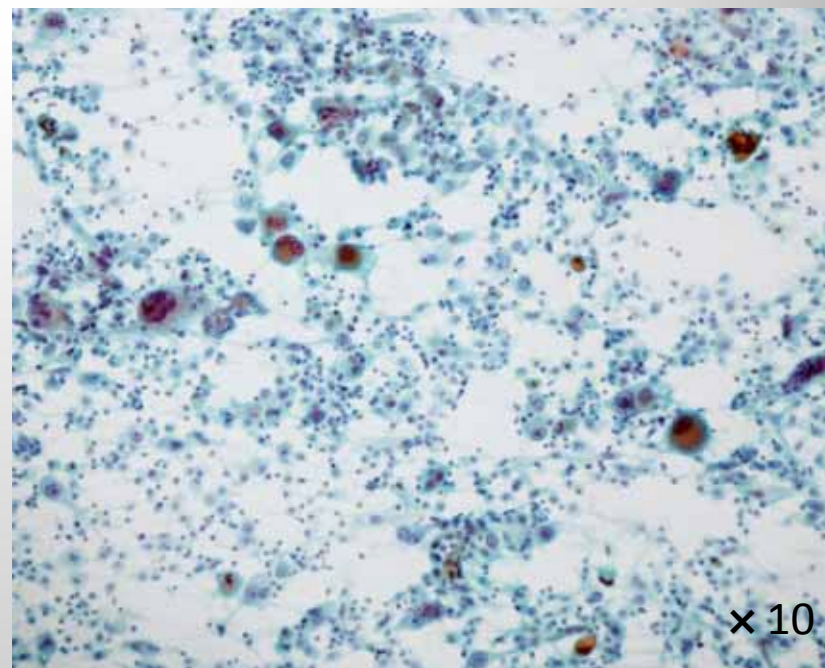
Pap.染色 (倍率 : $\times 10$ $\times 20$ $\times 40$) CT画像



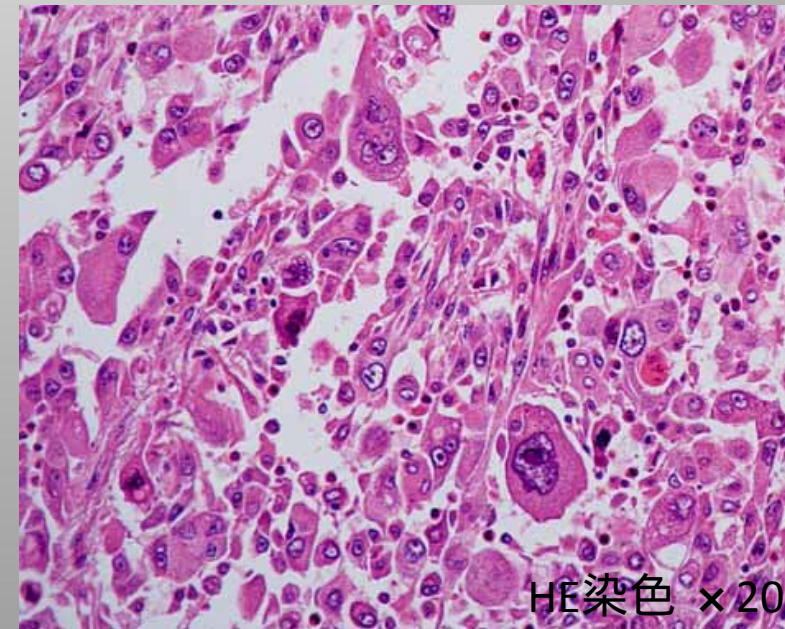
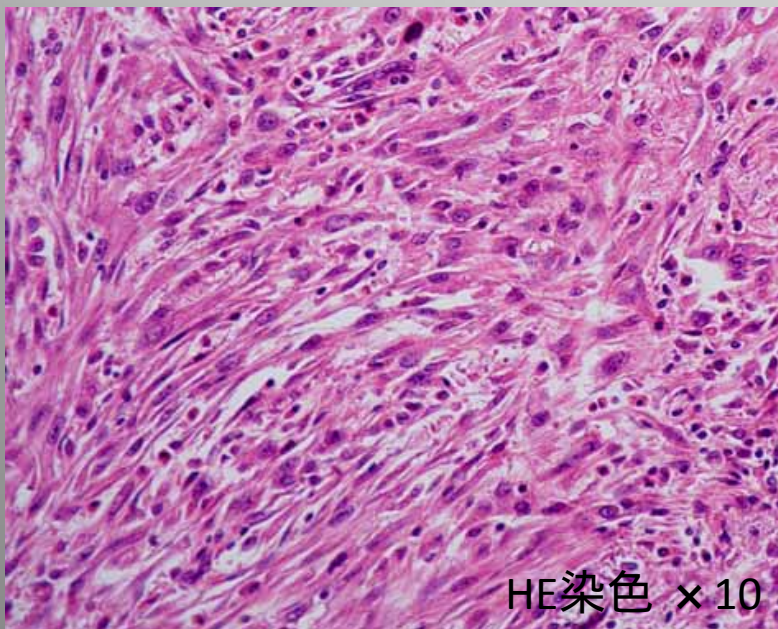
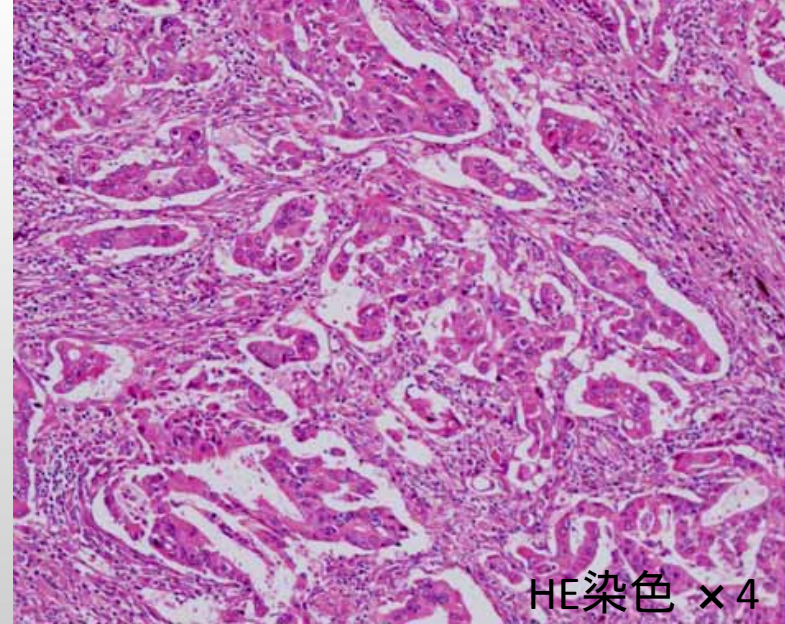
症例問題 設問

腺癌
扁平上皮癌
大細胞癌 4.4%
多形癌 93.3%
小細胞癌 2.2%

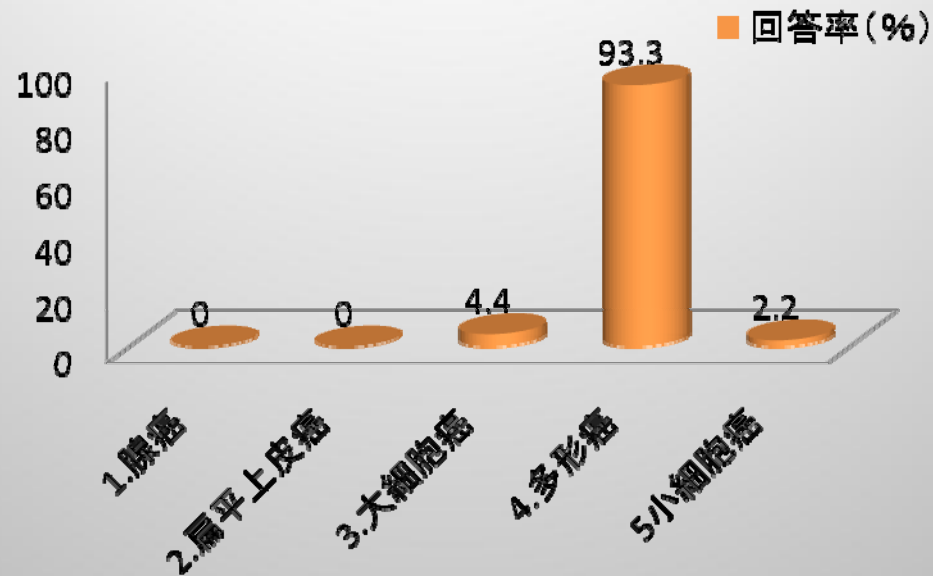
解答： **多形癌**



病理組織診断: Pleomorphic carcinoma



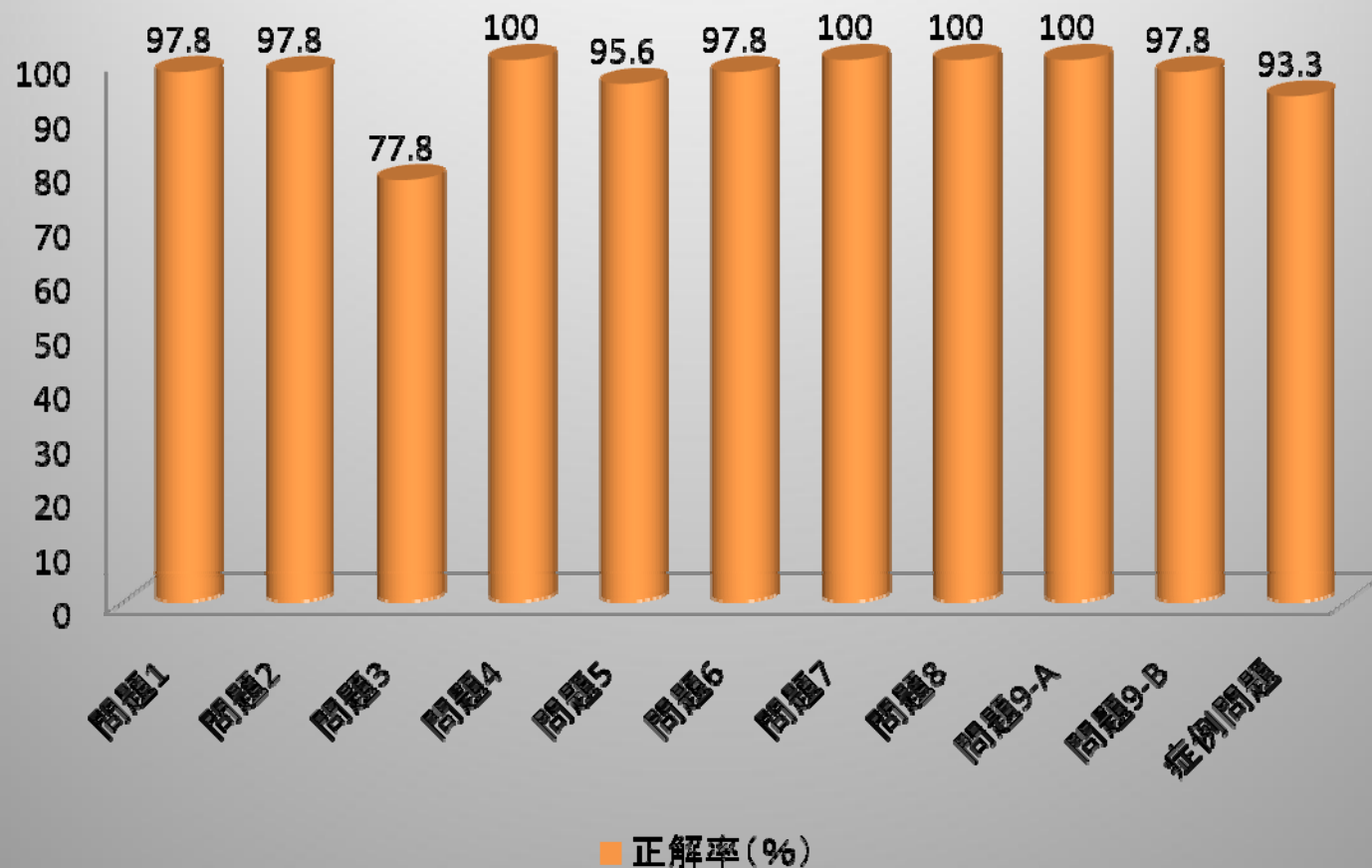
症例問題回答率



多形癌の定義

低分化な非小細胞癌であり、紡錘細胞あるいは巨細胞を含む扁平上皮癌、腺癌、大細胞癌、あるいは紡錘細胞と巨細胞のみからなる腫瘍である。
(肺癌取扱規約第6版)

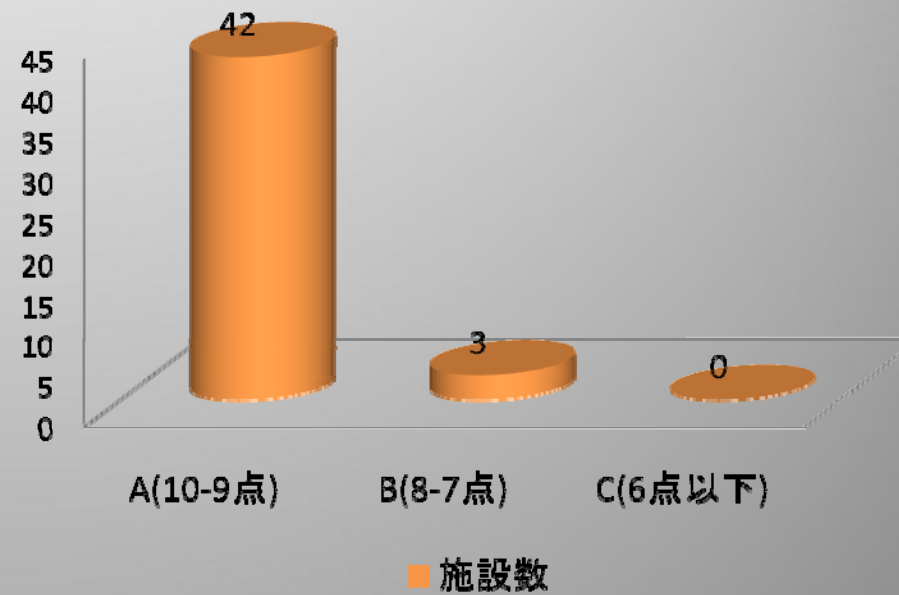
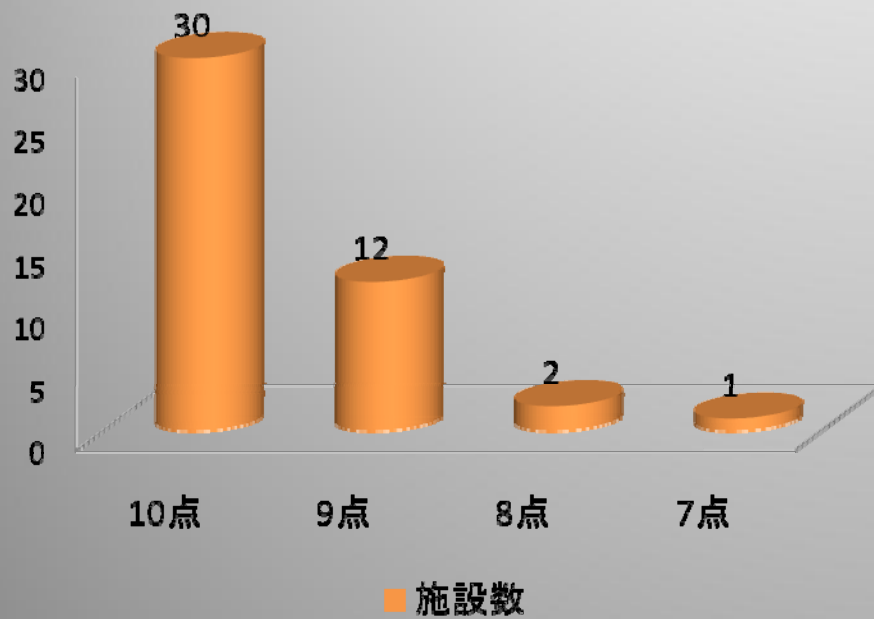
平成21年度 正解率



参加施設の評価状況

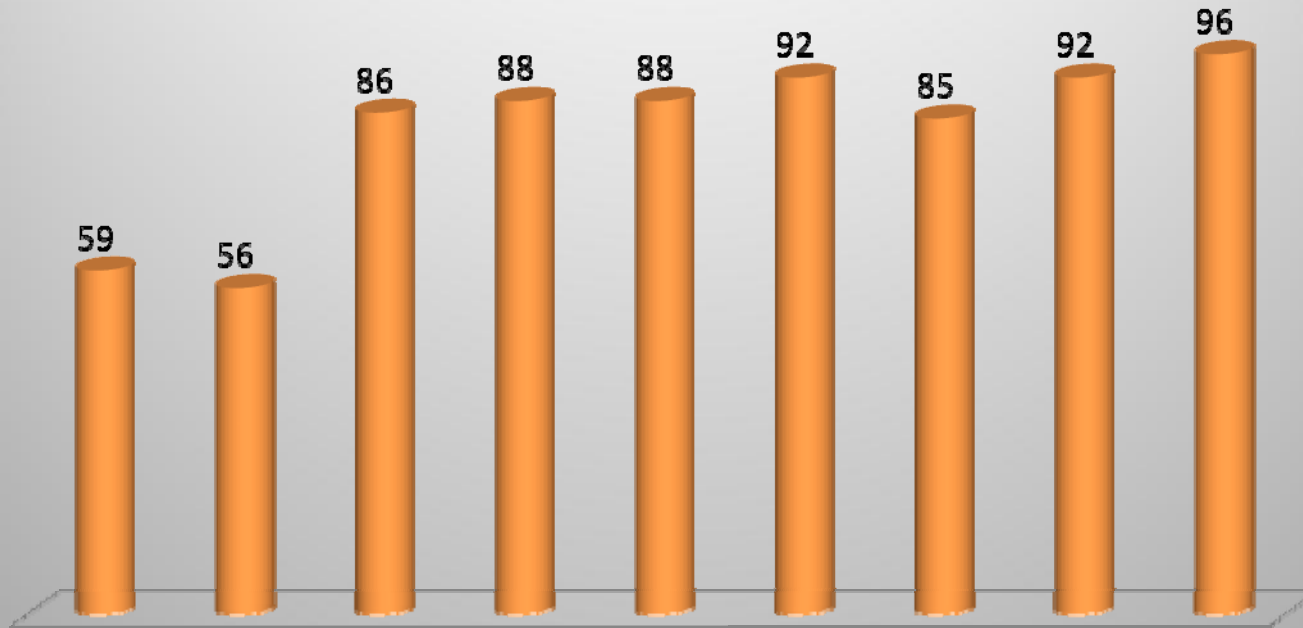
評価

参加施設: 45施設



正解率の年次推移

■ 正解率(%)



13年度

記述式で開始

14年度

15年度

選択肢を導入

16年度

出題数増加

17年度

アトラス作成

18年度

19年度

提示画像枚数増加

20年度

21年度

ベセスタシステム
標本評価問題導入

総括

正解率は96%と近年で最も高い正解率であった。

症例問題においては近年学会等で話題に上っている肺の多形癌の症例を提示したが、93.3%と高い正解率が得られた。

今回初めて設問内容にベセスダシステムを取り入れた。
正解率は97.8%と高く、各施設でベセスダシステムが浸透してきたことが伺えた。

新たに標本評価問題も取り入れたが、高い正解率が得られた。
近年研究班が精度管理として行ってきたパパニコロウ染色およびギムザ染色における染色性の評価が、各施設の精度向上につながっていると考える。

フォトサーベイに用いた画像の一部は千葉県臨床検査技師会ホームページの『細胞アトラス』に所見・詳細とともに掲載する予定である。
今後もインターネットを利用した精度管理業務を継続し、よりよい情報の発信源となることを目指したい。